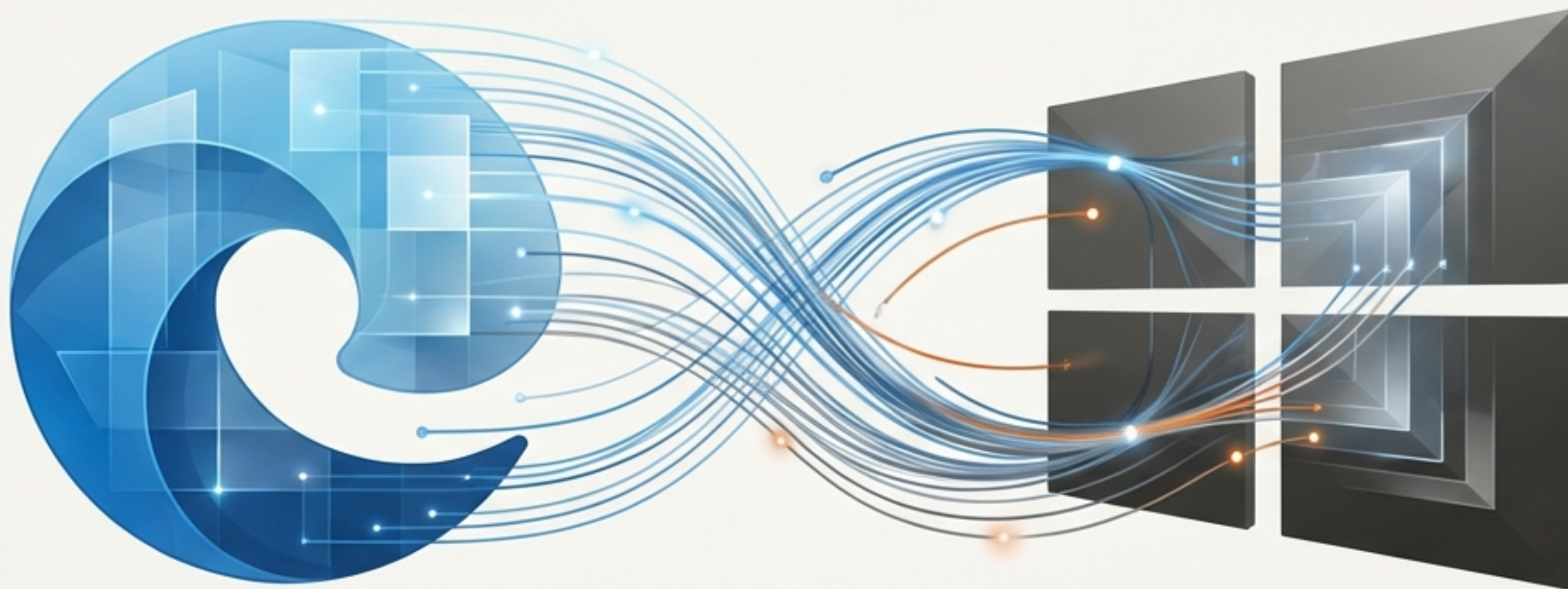


Microsoft AI新機能の全体像：EdgeとWindowsに跨るCopilot機能の構造を解き明かす



2025年10月から11月にかけて断片的に発表されたMicrosoftのAI新機能群。本資料は、その全体像を構造的に整理し、エンタープライズでの導入検討に必要な情報を網羅的に提供します。

なぜ混乱が生じたのか？断片的な発表の時系列



発表がプラットフォーム (Windows/Edge) と対象 (コンシューマ/ビジネス) を跨いで行われたため、機能の境界が曖昧に見えがちです。

このプレゼンテーションでは時系列を追うのではなく、現在の機能セットを構造的に理解することに焦点を当てます。

理解の鍵は「2つの世界」：ブラウザとOSの機能を明確に区別する



Edgeの世界（ブラウザ）

- Copilot Mode: AIブラウザ体験
- Multi-tab Reasoning: 複数タブの横断分析
- Journeys: 閲覧履歴の文脈化
- **Actions in Edge: ブラウザ内のタスク自動化**

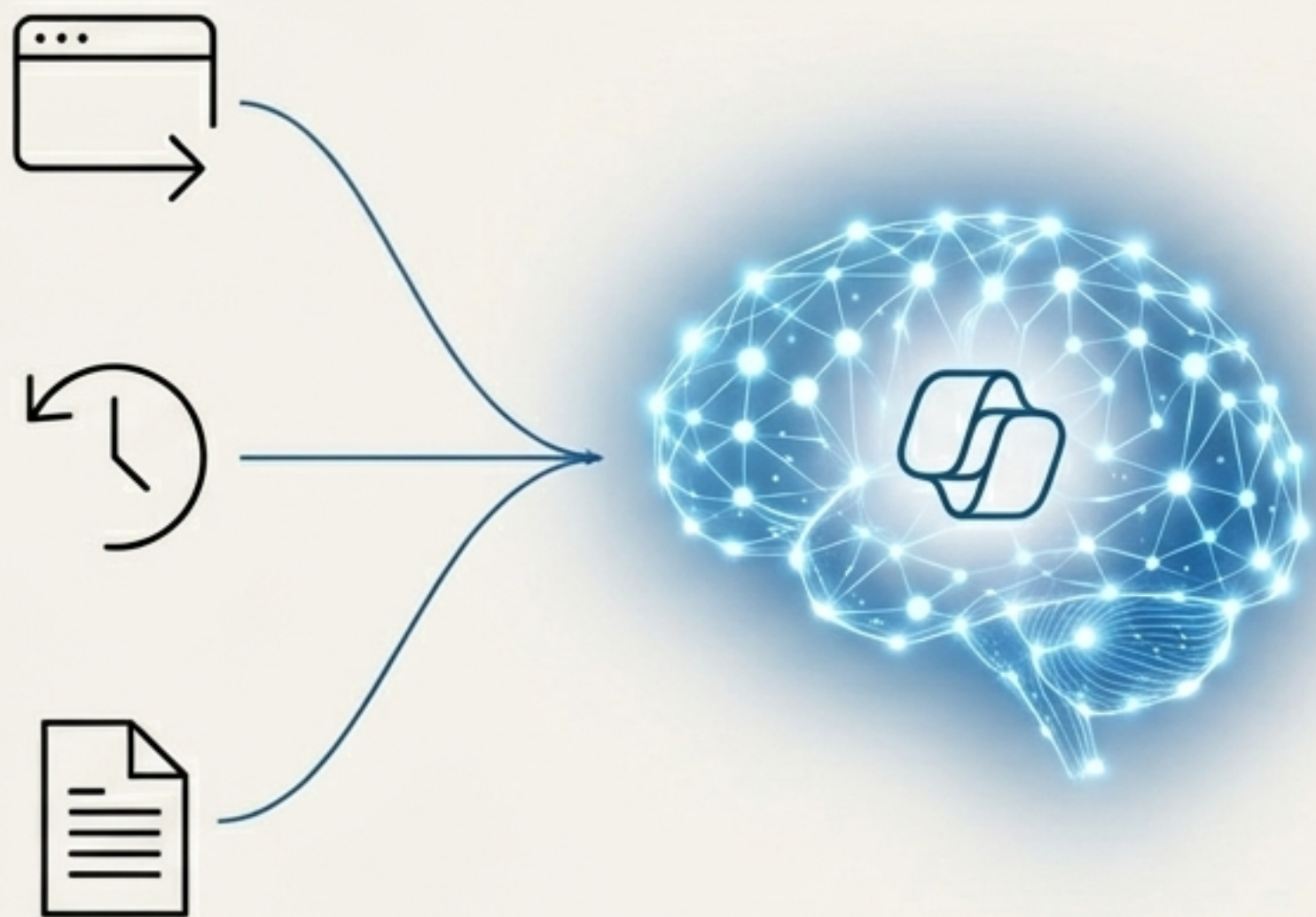


Windowsの世界（OS）

- Agent Workspace: AIエージェントの隔離実行環境
- **Copilot Actions on Windows: OS/ファイルレベルのタスク自動化**

Edgeの世界①：Copilot Modeとは「文脈を理解するAIブラウザ」

従来のサイドバーCopilotを拡張し、開いているタブ、履歴、ドキュメント（PDF、社内Wiki等）を「文脈」として深く理解するモード。



統合された入力

新しいタブページで、検索、チャット、URL ナビゲーションを1つのボックスで実行。

文脈理解

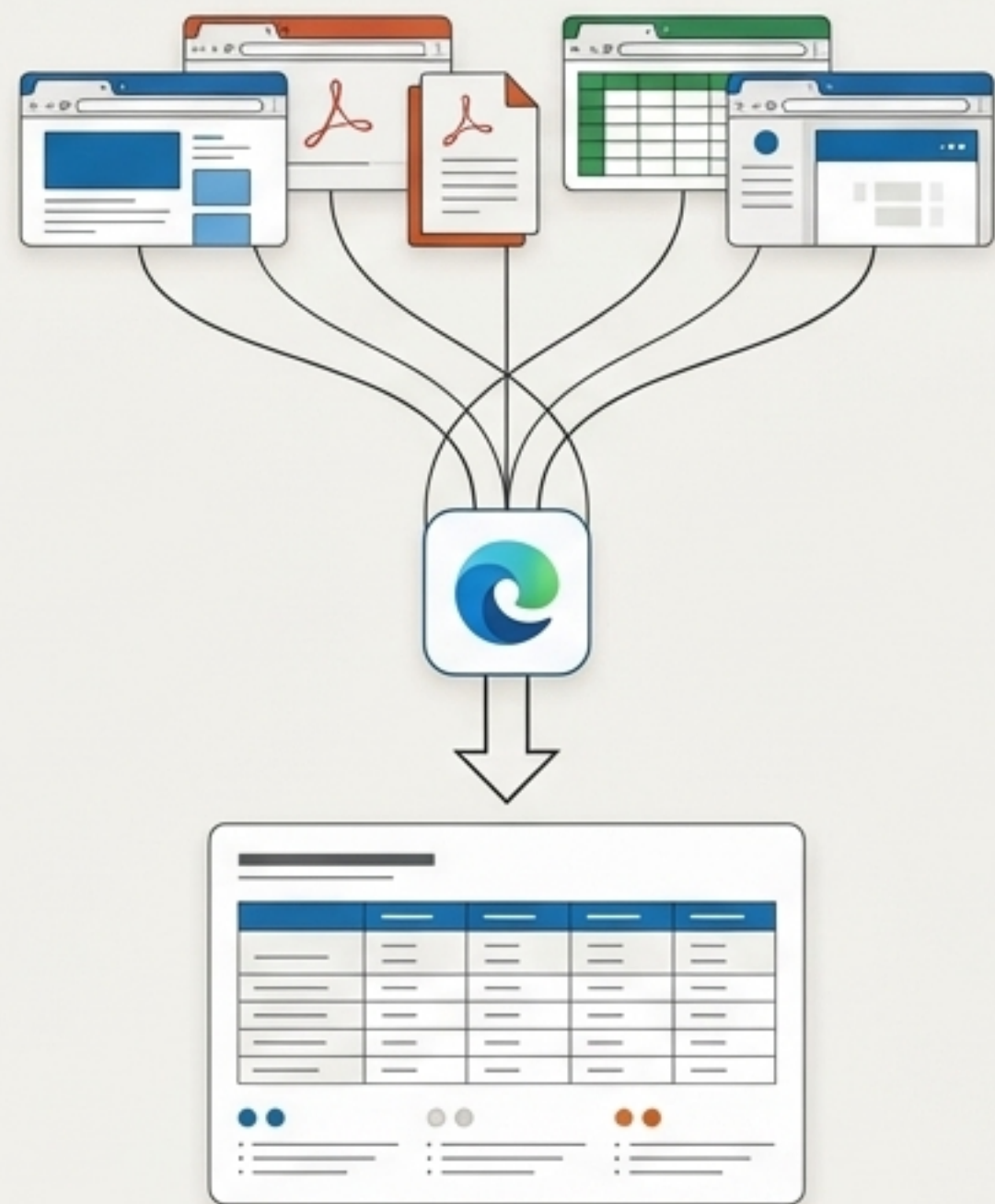
ユーザーの許可に基づき、開いているタブや閲覧履歴を横断して応答を生成。

Edge for Business連携

Entra IDでサインインすることで、Enterprise Data Protectionが適用され、組織内のコンテキスト（Microsoft Graph）も活用する「セキュアなエンタープライズAIブラウザ」となる。

Edgeの世界②：最重要機能「Multi-tab Reasoning」

開いている最大**30**のタブ（Web、PDF、M365ファイル、社内ポータル）を横断的に読み取り、高度な分析や比較を実行。



ビジネス活用例

競合分析

「開いている3つの競合他社の製品ページを比較して、機能比較表を作成して」

コンプライアンスチェック

「このニュース記事（タブA）と社内規定PDF（タブB）を照合し、コンプライアンス上のリスクを指摘して」

提供ステータスと前提条件

① Status: Edge for Business向けに**Frontier Program**経由で提供予定。

Prerequisites: 組織内文書を含む高度な利用には**Microsoft 365 Copilotライセンス**が前提となるケースがある。

Edgeの世界③：閲覧コンテキストを記憶・再開する「Journeys」



閲覧履歴とCopilotとの対話履歴をAIがトピック単位（例：「プロジェクトAの調査」）で自動的に束ね、カード形式で保存する「コンテキストメモリ」機能。

The screenshot illustrates the 'Journeys' feature in Microsoft Edge. On the left, a vertical list of browsing history items is shown, including Google Search results, news articles, documents, Wikipedia pages, LinkedIn posts, YouTube videos, and email clients. A blue arrow points from this list to a summary card on the right. The card is titled 'プロジェクトAの調査' (Project A Investigation) and contains a summary of AI trends, related documents, and Wikipedia search results. Below the summary are buttons for 'ドキュメント' (Documents), 'Wikipedia', and '検索' (Search). Another card below it is titled '仕事の未来' (The Future of Work) and contains buttons for 'ニュース' (News) and '動画' (Videos). A third card at the bottom is titled '機械学習の基本' (Basics of Machine Learning).

User Benefit

「先週調べていたプロジェクトAの件だけど、追加でこれも調べて」といった、文脈を維持したままのタスク再開が可能に。

提供ステータスと前提条件

Status:  Preview  USのWindows 11 / macOSユーザーから順次展開中のプレビュー機能。

Activation: Copilot Modeをオンにした上で、ユーザーが明示的にJourneysを有効化する必要がある。

最も混同しやすいポイント：「Copilot Actions」2つの機能の明確な区別

Actions in Edge (ブラウザ内アクション)

役割

ブラウザ内で完結するWebサイト操作の自動化。


具体例

- サイトの翻訳、サブスクリプションの解除。
- ショッピングサイトでの注文補助。

実行環境

Edgeブラウザ内。

ステータス

 US先行の限定
プレビュー。

 Regional
Lock

Copilot Actions on Windows (OS上のアクション)

役割

Windows OS上のファイルやアプリケーション操作の自動化。


具体例

- 「ダウンロードフォルダのPDFを『請求書』フォルダに移動して」
- ファイルから情報を抽出・整理。

実行環境

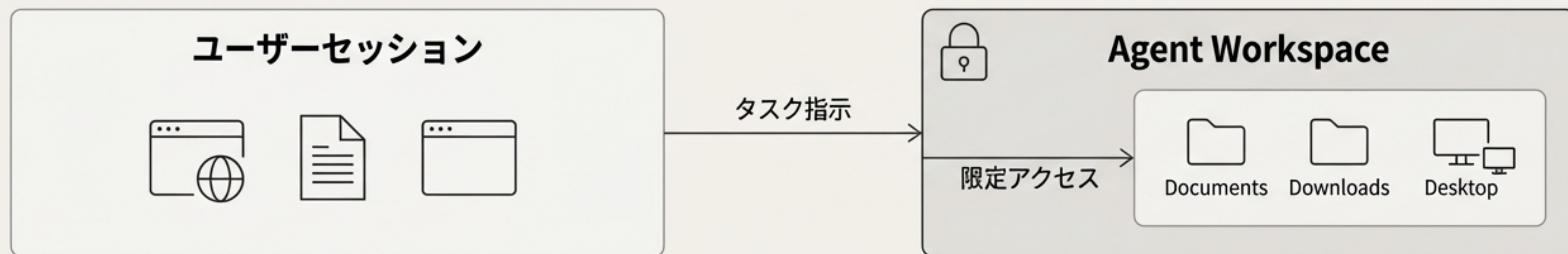
Agent Workspace (OS上の隔離環境)。

ステータス

 Windows Insider向けの実験的機能。

Windowsの世界：OSエージェント基盤「Agent Workspace」

Copilot Actions on Windowsを実行するための、セキュリティが確保された隔離実行環境。
OSレベルでタスクを自動化する将来ビジョンの基盤。



セキュリティモデルの要点

- **セッション分離**：ユーザーとは別の「エージェント用アカウント」で動作。
- **最小権限**：アクセスは既定で「既知のフォルダ」（Documents, Downloads, Desktop等）に限定。
- **監査証跡**：どのファイルにアクセスし、何を実行したかのログが記録される。

有効化：Windows設定の「Experimental agentic features」トグルでON/OFF。本番環境での利用は推奨されない。

Status：⚙️ Windows Insider向けに段階的ロールアウト中。

エンタープライズ利用の要①：セキュリティとEnterprise Data Protection

Entra IDでサインインしたEdge for Business上のCopilotは、**Enterprise Data Protectionの対象**となる。

The Promise

- プロンプト、応答、アップロードされたファイルは、**基盤モデルの学習には使用されない**。
- データはテナントの境界内に留まり、OpenAIなど外部と共有されることはない。

既存セキュリティとの連携

- **Purview DLP**: 保護されたサイトやPDFでは、Copilotによる要約やコピーがポリシーに基づきブロックされる。
- **感度ラベル**: 機密ラベル付きドキュメントへのCopilotのアクセスは尊重・制御される。

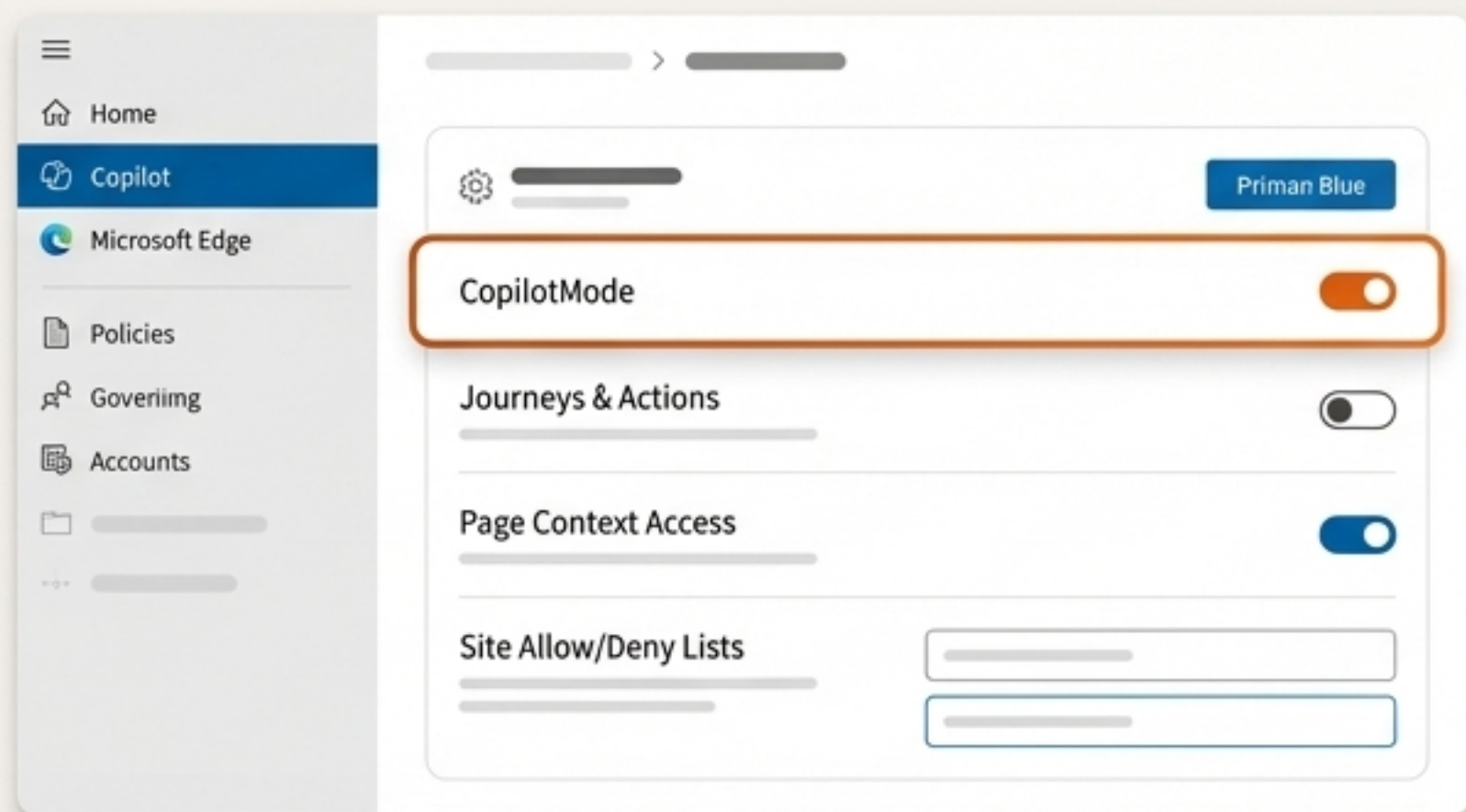
Key Takeaway

AI機能は、既存のデータガバナンスとセキュリティの枠組みの中で動作するように設計されている。

エンタープライズ利用の要②：Edge管理サービスによる一元管理

Edge Management Service（Microsoft 365 管理センター）を通じて、AI機能のポリシーを一元的に構成・展開。

Edge Management Service



主な制御可能ポリシー

- Copilot Mode自体の有効化/無効化。
- Journeys / Actions in Edge機能のON/OFF。
- Copilotによるページコンテンツへのアクセス許可/禁止。
- Actionsが操作を許可されるサイトの Allow/Denyリスト管理。

Deployment

ポリシーを特定の構成プロファイルに紐づけ、対象のセキュリティグループに割り当てることで、段階的なロールアウトが可能。

機能別提供ステータス一覧（2025年11月時点）

機能 (Feature)	対象 (Scope)	提供ステータス (Status)	主な前提条件 (Prerequisites)
Copilot Mode in Edge	Edge for Business	● 一般提供	Entra IDサインイン
Multi-tab Reasoning	Edge for Business	◐ Frontier Program	M365 Copilot ライセンス
Journeys	Edge (Win/macOS)	◐ 🌐 US限定 プレビュー	ユーザーによる明示的な有効化
Actions in Edge	Edge (Win/macOS)	◐ 🌐 US限定 プレビュー	ユーザーによる明示的な有効化
Copilot Actions on Windows	Windows 11	⚙️ Insider限定の 実験機能	管理者によるトグルON、 Copilotアプリの更新

具体的なビジネス活用シナリオ



リサーチ・競合分析

複数競合サイト、レポート、社内資料をタブで開き、「機能、価格、ターゲット層で比較表を作成」と指示。

情報収集の時間を**劇的に削減**し、結果の検証とインサイトの解釈に集中。



コンプライアンス・リスクレビュー

新しい規制記事と社内規程PDFを開き、「この規制が当社のポリシーに与える影響は？」と質問。

DLPと連携し、安全な環境で属人化しがちなレビュー業務を**高速化・高度化**。



エンジニアリング・設計レビュー

GitHubのPR、設計書、インシデント報告を開き、「このPRが非機能要件と整合しているか」を要約させる。

複雑な技術文書間の関連性を素早く把握し、レビューの**質を向上**。



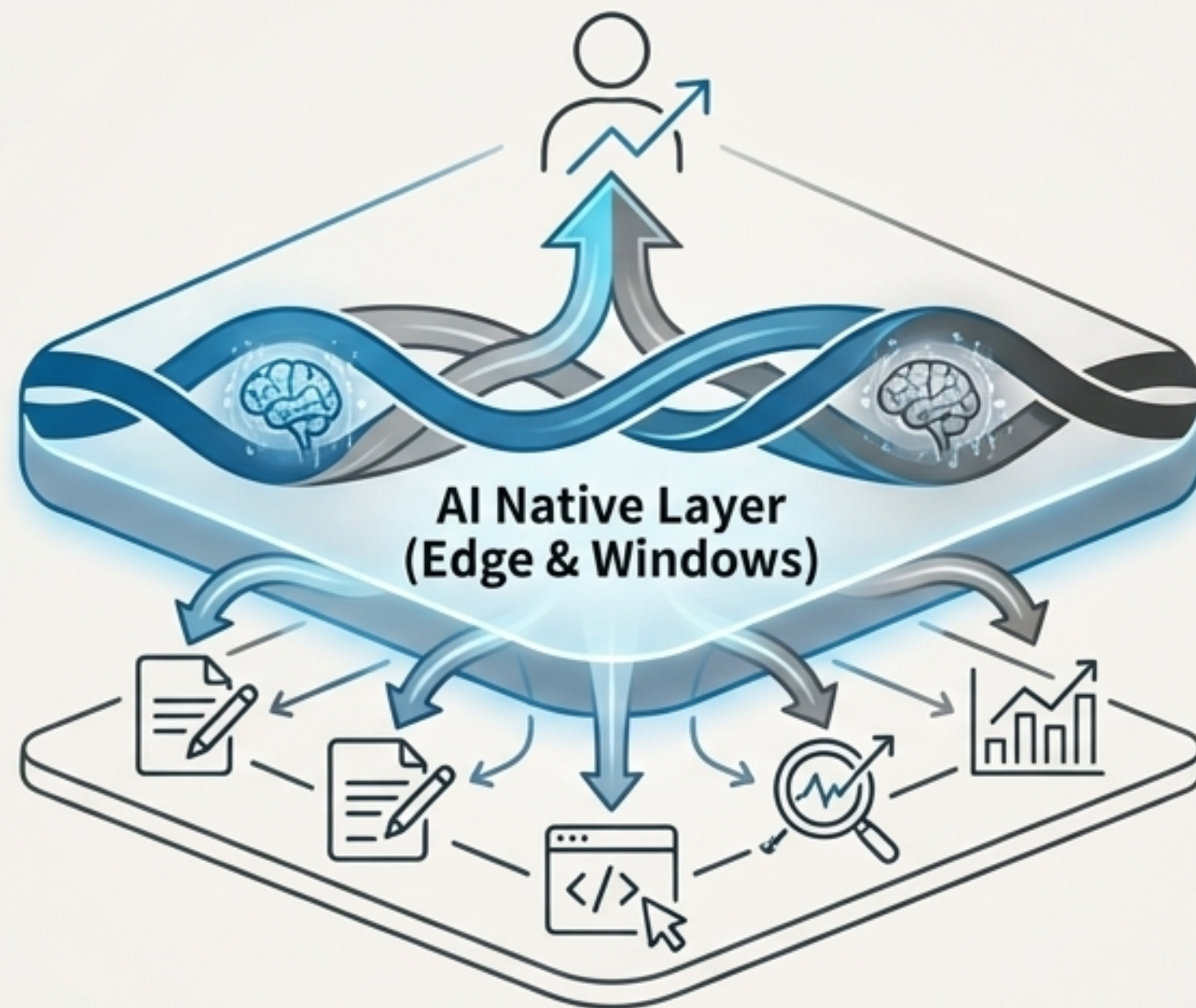
ナレッジマネジメント・オンボーディング

新メンバー向けに関連Wikiや仕様書を開き、「このプロジェクトの背景と課題を10分で要約して」と指示。

Journeys機能と組み合わせ、キャッチアップを効率化し、知識の**属人化を解消**。

全体像の再確認：Microsoftが目指す「AIネイティブ」な未来

単なる情報アクセスツールから、ユーザーの意図を先読みし、タスクを代行する **プロアクティブなエージェント**へと進化。



アプリケーションを実行するプラットフォームから、OS自体がユーザーのゴール達成を支援する **AIネイティブなオペレーティングシステム**へと進化。

今回解説した各機能は、この2つの世界を連携させ、AIをOSとブラウザの根幹に統合していくための、具体的かつ重要な第一歩である。

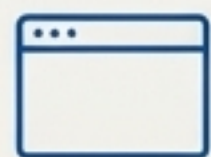
導入検討のための実践的チェックリスト



- 1 ライセンス確認 (License Confirmation)**
 - ・ M365 Copilotライセンスの保有状況と対象ユーザー数を確認する。
 - ・ Frontier Programなど、プレビュー機能への参加可否を調査する。



- 2 セキュリティ設計 (Security Design)**
 - ・ Purview DLP/感度ラベルの適用状況をレビューし、Copilotに参照させる情報の範囲を定義する。



- 3 ブラウザ管理 (Browser Management)**
 - ・ Edge Management Serviceで、Copilot Modeや関連機能の有効化ポリシーを策定する。



- 4 パイロット計画 (Pilot Planning)**
 - ・ 対象部門（リサーチ、法務、開発等）と代表ユースケースを特定する。
 - ・ 作業時間短縮などの成果指標を設定する。



- 5 ガイドライン策定 (Guideline Creation)**
 - ・ プロンプトのベストプラクティスや「AIに見せてよい情報」の基準を文書化する。

まとめ：ブラウザとOS、2つの世界の連携がAI活用の鍵



Key Takeaways

- **Edge for Businessが中核**：エンタープライズAI体験の基盤はEdge。特に「Multi-tab Reasoning」が差別化要因となる（現在プレビュー）。
- **「Actions」は2種類**：ブラウザ内自動化（USプレビュー）とOS自動化（Insider実験機能）は明確に区別が必要。
- **セキュリティが前提**：Enterprise Data Protectionと既存の管理ツール連携により、安全な利用環境が提供される。
- **スモールスタートを推奨**：まずは価値の高いリサーチやレビュー業務に絞り、パイロットプログラムから導入を開始することが現実的。